

よくある質問と答え

12. 鳥インフルエンザの原因は何ですか？

鳥インフルエンザは、数種類のインフルエンザウイルスによって引き起こされますが、ウイルスの種類によって症状や種へのインパクト、重症度が異なります。WHOとCDCによれば、現在発生している鳥インフルエンザは、A型インフルエンザのH5N1血清型によるものです。鳥インフルエンザの詳細については、CDCおよびWHOのウェブサイトを参照してください。

13. 鳥インフルエンザ対策用の防護服に使われる素材はASTM F1671に適合していなければなりませんか？

その必要はありません。OSHA 19 CFR 1910.1030「血液媒介病原菌に関する規則」によれば、通常の着用条件で皮膚および下着の汚染を予防するものであれば、その素材は適切とみなされます。

14. デュポン™ タイベック® 防護服が鳥インフルエンザを防げるかどうか、どうすれば確認できますか？

すべての防護服が鳥インフルエンザの拡大予防に適しているわけではありません。それぞれの状況に応じて、防護用の服と用具の選定と使用に関するトレーニングを受けた人が評価を行う必要があります。防護服が意図した用途に適しているかどうかを、メーカーに確認してください。色だけを基準にして、防護服を選ばないでください。意図した用途に適した素材が防護服に使われているのかも確認しましょう。

弊社は、感染防止対策に関するWHOの勧告を継続的に監視し、それに従ってデータを更新していく意向です。このような事故で防護服を使用する目的は、作業員の衣類が汚染されるのを予防し、感染性物質が汚染されていない場所に拡大するのを未然に防ぐことです。

15. デュポン™ タイベック® またはデュポン™ タイケム® 防護服は、米国内で医療機器として承認されていますか？

いいえ。

*本資料は、2005年12月7日現在、デュポンが入手している情報に基づくものです。すべての読者は、公衆衛生および農業関連の情報源を参照して本資料の情報を確認・更新し、自らが選択して着用する個人用防護衣がニーズに適していること確認する責任を担います。

製品の安全性に関する情報は、ご請求に応じて提供いたします。この情報は、現時点でデュポン社が保有する知識に相当するものです。この情報提供は、ユーザーが各自で判断するために可能な提案を行うことを唯一の目的としており、本製品がユーザーの意図する特定の用途に適するかどうかをユーザーが各自で判断するために、実施する必要があると考えられる試験を代替するものではありません。危険度ならびにユーザーの意図する特定の用途に必要な適切な保護具の判断は、ユーザーの責任で行ってください。この情報は、新たな知識や経験が得られた場合に改訂されることがあります。エンドユーザーによって異なる使用条件をすべて予測することは不可能なため、この情報の使用に関して、デュポン社が保証を行ったり、責任を負うことは一切ありません。本資料の記載内容は、登録商標または特許権を使用して業務を行うためのライセンス、あるいはそれらの権利侵害の勧告とみなされるものではありません。

総輸入販売元
旭・デュポン フラッシュスパン プロダクツ 株式会社
〒100-6111 東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー

URL <https://www.tyvek.co.jp/pap>
☎0120-300355 E-mail: Tyvek.Japan@dupont.com

デュポン™、デュポンオーバル・ロゴ、および™、®、又は®表示のあるすべての標章は、別段の記載がない限り、DuPont de Nemours, Inc. の関連会社の商標又は登録商標です。
Copyright © 2022 DuPont-Asahi Flash Spun Products Co., Ltd. All rights reserved.



「DUPONT」
Tyvek | Tychem

デュポン™ タイベック® ソフトウェア デュポン™ タイケム®



鳥インフルエンザ対策用防護服



本資料は、鳥インフルエンザ対応デュポン製防護服の使用に関するガイドラインです。防護服は、鳥インフルエンザ対応用に推奨される防護プログラムの一部です。

ヨーロッパ向けガイドラインは
<http://www.dpp-europe.com/en/pdf/flu.pdf>

中国向けガイドラインは
<http://personalprotection.ap.dupont.com/en/index.html>

で参照することができます。これらのガイドラインは、世界保健機関 (WHO)、国連食糧農業機関 (FAO)、米国疾病管理センター (CDC)、米国職業安全衛生管理局 (OSHA)、米国農務省 (USDA) および米国食品医薬品局 (FDA) の勧告、ならびに欧州連合と中国国家食品薬品监督管理局が発行した特定の勧告に基づくものです。

防護服、および保護具全般は、鳥インフルエンザに対する包括的対応の一部分に過ぎません。鳥インフルエンザの公衆衛生管理

では、隔離と回避、工学的管理、作業の実践、運営管理、個人用保護具など、さまざまなテクニックの組み合わせが必要となります。対応を実践する前に、地元の関係当局に相談してください。このガイダンスが、皆様が取り組もうとしている活動と条件に適したものかどうかを確認してください。

現在、東半球で発生している鳥インフルエンザは、A型インフルエンザのH5N1型によるものです。この血清型 (H5N1) は、家禽にとって極めて致命的なもので、アジア数カ国で家禽の大量処分を引き起こし、最近では中央ヨーロッパや東アジアでも確認されました。従来の鳥インフルエンザ対応手順は、ウイルスの拡大防止に効果的なものではありませんでした。

発生エリアの大きさに対し、ヒトの感染者はごくわずかですが、感染が確認された人の半数以上が死にいたっています。世界保健機関 (WHO) では、2003年12月26日から2005年12月7日にかけて135人がH5N1に感染し、それが原因で69人が死亡したことを確認しています。WHOの報告によれば、感染した鶏との接触が感染原因として最も多く、場合によっては、ヒトからヒトへの感染の可能性を否定出来ないケースもあります。

保健の専門家はヒトへの感染の世界的な流行を懸念しており、その理由として

- ①このウイルスの拡大をコントロールするのが困難なこと
- ②ヒトの感染例で死亡率が高いこと
- ③ウイルスに突然変異する性質が備わっていることが挙げられます。H5N1ウイルスの存続期間が長引いて感染が拡大するほど、ヒトからヒトへ感染しやすい型に突然変異する可能性は高くなります。ヒトには、このウイルスに対する免疫がほとんどないため、ヒトからヒトへの感染がインフルエンザの世界的な流行につながる可能性もあります。第一次世界大戦の終わりにインフルエンザが大流行して2千万から5千万人の死者を出した際も、これと同じような状況が発端になったと考えられています。

「DUPONT」
Tyvek | Tychem

よくある質問と答え

1. デュポン™ タイベック® やデュポン™ タイケム® 製の衣類で鳥インフルエンザの感染を防ぐことは可能ですか？

タイベック® やタイケム® 製の防護服自体が着用者を鳥インフルエンザから保護するわけではありません。世界保健機関(WHO)と国連食糧農業機関(FAO)、米国疾病管理センター(CDC)、米国職業安全衛生管理局(OSHA)から、獣医による査察や感染鳥群の全殺処分、農業設備・建物の消毒、鳥インフルエンザ標本のラボ取り扱いに従事する作業員、介護者をはじめとする医療施設のスタッフを対象とする勧告書が発行されています。タイベック® やタイケム® 製の防護服が、使い捨て防護服に関するこれらの勧告に適合している場合もあれば、適合していない場合もあります。

2. 鳥インフルエンザの発生エリアでデュポン™ タイベック® やデュポン™ タイケム® の防護服が使用されている理由を教えてください。

使い捨て防護服は、感染性物質によって皮膚や衣類が汚染されたり、感染性物質に汚染されていない場所に広がる確率を低減します。

3. 現在、どのような鳥インフルエンザ対策が推奨され、誰がその取り組みを推奨しているのですか？

WHO (<http://www.who.org>) と CDC (<http://www.cdc.gov>)、OSHA (<http://www.osha.org>)、FAO (<http://www.fao.gov>) は、農場および医療従事者向け防護プログラムを推奨しています。

4. タイベック® やタイケム® 素材でウイルス感染を防ぐことはできますか？

タイベック® 防護服の素材は、浸透圧 2 kPa (0.3psi) で人工体液からのウイルス侵入を防ぐ耐浸透性を備えています。縫い目や閉じ部分、デザインも、タイベック® 製防護服のバリア性能にとって重要な要素です。シールドシームは、通常の縫製やバウンドシーム(縁縫い)よりもバリア性能に優れています。オーバーフラップにより、ジッパー閉じ部分のバリア性能を向上させることも可能です。タイケム® の素材に同様の試験を実施したところ、浸透圧 13.4 kPa で体液からのウイルス侵入を防ぐ耐浸透性を備えていることが判明しています。

5. 鳥インフルエンザに対するデュポン™ タイベック® やデュポン™ タイケム® 素材の防護性能に関する試験は実施されていますか？

鳥インフルエンザウイルスの試験が実施された防護服は、タイベック® やタイケム® を含め、弊社が知る限りありません。* 弊社では、ウイルスを混入した人工体液からウイルスと粒子の通過を阻止する耐浸透性について、タイベック® とタイケム® 防護服の試験を実施しています。

6. 鳥インフルエンザウイルスに関してデュポン™ タイベック® とデュポン™ タイケム® 防護服と素材の試験を実施する予定はありますか？

弊社は、鳥インフルエンザウイルスの特性に関する試験の優先順位を決定するに当たり、CDCやWHOなど専門機関の指導に従います。CDCやWHOよりタイベック® とタイケム® の素材に関する試験実施の協力が要請された場合、弊社は可能な限りの技術支援を行う意向です。

7. デュポン™ タイベック® が適していないのはどんな状況ですか？

体液や液状の排泄物、プールされた体液、消毒液への中から高レベルの曝露が予想される場合、デュポン™ タイケム® の防水性素材でつくられたシールドシーム防護服を着用し、体液との接触リスクを低減するための手順を採用することを検討してください。ただしタイケム® の素材は鳥インフルエンザウイルスに関する試験が実施されておらず、タイケム® 防護服があらゆる状況に対応可能なわけではないことに注意してください。タイケム® 防護服の防水性は、服のデザインと閉じ部分によっても異なります。

8. 防護服がガイドラインに適合しているかどうか、どのように確認したらよいのですか？

すべての防護服が鳥インフルエンザの拡大予防に適しているわけではありません。それぞれの状況に応じて、防護用の服と用具の選定と使用に関するトレーニングを受けた人が評価を行う必要があります。防護服が意図した用途に適しているかどうかを、メーカーに確認してください。色だけを基準にして、防護服を選ばないでください。意図した用途に適した素材が防護服に使われているのかも確認しましょう。

9. 全世界の需要を満たすのに十分な量のデュポン™ タイベック® やデュポン™ タイケム® の防護服が確保されているのですか？

デュポンは現在、タイベック® とタイケム® 防護服に対する全世界の需要を満たせるように取り組んでいます。

10. さらに多くの防護服を迅速に供給するために、デュポンはどんな取り組みを行っていますか？

デュポンは、予想される需要に対応できるよう、供給の状況を継続的に監視して在庫調整を行っています。

11. このような健康危機に対処するために、デュポンはどんな取り組みを行っていますか？

デュポンは、WHOのガイダンスに準じて、製品に対する全世界の需要を満たし、自社製品の正しい使用法を理解し、ユーザーがニーズに適した防護法について意思決定を行う上で役に立つ情報を用意できるように取り組んでいます。

世界的な流行がいつ起きるかは、誰にも予測できません。世界中の専門家がアジアとヨーロッパでのH5N1ウイルスの状況を厳しく監視し、ヒトからヒトへのウイルス感染が拡大した場合に備えています。

防護服の着用が必要な鳥インフルエンザ関連の活動は数多く存在しますが、主なものとして以下の例が挙げられます。

● 獣医による査察

● 家禽の全殺処分

● 農場設備・建物の洗浄および消毒

● ラボでの鳥インフルエンザ感染物質の取り扱い

● 医療施設での感染者隔離

農場では、家禽の糞が最も危険な感染経路になります。汚れた衣服や用具類を農場から農場へと運ぶのは避けるべきです。獣医による査察では、デュポン™ タイベック® 製の使い捨て防護服を使用することができます。タイベック® シューカバーは、農場の屋外で使用可能な耐久性を備えていないため、別途ブーツを着用してください。また、作業場から別の場所へ移動する際にはフットウェアの消毒を行ってください。

鳥インフルエンザのコントロールには、多くの場合、感染鳥群の全殺処分と死骸の処分、農場の消毒が必要となります。FAOによれば、鳥インフルエンザの流行を阻止する目的で、これまでに1億羽以上が処分されています。CDC、WHO、FAOおよびOSHAは、全殺処分の際に作業員を保護し、感染拡大を予防するための詳細な勧告書を発表しています。これらの勧告書には、使い捨て防護服または手術用ガウンの上に着用する防水エプロンの使用に関する記述もあります。一部のEU諸国で義務づけられているように、徹底的な湿式除染が必要な場合、シールドシームのデュポン™ タイケム® 防護服の使用が推奨されます。

農場設備・建物の洗浄および消毒用防護服に関する規定はありませんが、消毒剤と皮膚の接触を最小限に抑えられるような縫製とデザイン、素材を選ぶことが重要です。これらの作業にはタイケム® 防護服に、適切な手足・顔用の保護具を併用することも可能です。

また、作業員が汚染されたエリアの外に出る前には、防護服を脱いで、安全な方法で容器に封じ込める必要があります。防護服を

脱いだ後、さらに作業員の衛生管理(特に手洗い)を行うことが推奨されます。FAOは、感染動物に接触した人はすべて、こまめに手洗いを行うように勧告しています。

鳥インフルエンザの標本を取り扱うラボでの作業に関しては、WHOは、防護服や実験用コート・ガウン、またはガウンに似たフルカバー型エプロンの着用を推奨しており、曝露のレベルに応じてデュポン™ タイベック® を着用することができます。防護服や実験用コートの上に、防水エプロンを重ね着することもできます。ガウンの素材は、作業の内容や想定される曝露に対応できる十分な防水性を備えているものでなければなりません。ラボ専用フットウェアの代わりに、滑り止めのソール加工やコーティングが施された使い捨てブーツの使用を検討してもいいでしょう。ラボを退室する際は、その前に防護服を脱ぐ必要がありますので、ご注意ください。

医療施設では、医療従事者と来訪者、その他のスタッフ用に清潔な滅菌済み隔離用ガウンを使用するように、CDCとWHOが勧告しています。ガウンの素材、および滅菌するかどうかは、作業の内容と想定される曝露に応じて異なります。手指の衛生管理に注意することも非常に重要です。

米国以外にも、医療用衣類に関する独自の規定を設けている国もあります。医療従事者は、適用される要件の具体的なガイダンスについて、地元の関係当局に問い合わせる必要があります。例えばデュポンが販売するタイベック® 製の衣類は、感染防止用衣料に関する中国国家食品薬品监督管理局のガイドラインに適合しています。

デュポンは引き続き、医療の専門家や公衆衛生当局と協力しながら、これらの極めて重要なニーズに対応する防護服と素材の研究開発に取り組み、新しいデータを入手次第、必要に応じてテクニカルガイダンスの更新を行っていきます。

鳥インフルエンザの管理には、防護服や防護用機器の使用など、さまざまなテクニックを組み合わせることが必要です。対策を講じる前に、地元の関係当局に問い合わせることをお勧めします。このガイダンスが、皆様が取り組もうとしている活動と条件に適したものかどうかを確認してください。